

(別紙1)

総括研究報告書

課題番号	2023B-19				
研究開発課題名	小児肝移植におけるトロンボエラストグラフィと術後合併症の関連性の検討				
分類*	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input checked="" type="checkbox"/> ④	<input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥ <input type="checkbox"/> ⑦
区分	<input type="checkbox"/> A	<input checked="" type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> S
主任研究者	所属	手術集中治療部麻酔科			
	役職	麻酔科常勤医師			
	氏名	馬場 千晶			
実施期間	2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月 31日				

※分類は下記①～⑦より選択

- ① 日本の成育分野の疾患の研究の基盤となる研究
- ② 診断、治療及び予防法の開発に関する研究
- ③ 発症機序や病態の解明等を行う研究
- ④ 診断や治療のための基準の開発等に関する研究
- ⑤ 患児・者のQOL向上に結びつく研究
- ⑥ 研究的視点や技術をもつ医療従事者を育てるための研究
(プロトコル作成のフェージビリティ研究)
- ⑦ 政策提言に結びつく研究

成果の概要

2023年度は肝移植術中の4点(麻酔導入時、無肝期、再還流期、閉腹)で TEG を測定し、原疾患毎の術中 TEG の推移と輸血投与との関連性、術中術後の血栓症と TEG の関連性を検討する計画であった。2023年3月31日までに110症例で肝移植術中の TEG 測定が計画通りに実施された。検討した全症例を TEG の結果に影響を与えると考えられる輸血を行った群と行わなかった症例の2群に分け、TEG の推移・一般凝固検査結果を比較検討することで、小児肝移植術中の TEG の自然経過と輸血の必要性の検討が行われた。また小児肝移植の疾患群毎の術中の TEG の推移の報告は希少であるが、その検討も行われた。上記検討の結果は現在論文作成中であり、近日中に投稿予定である。また検討した110症例中、術中血栓形成を認めた症例は2例、術後では1例であった。この3例に関しては、術前状態、術中管理、術後経過などを詳細にまとめ論文化中であり、2024年度の本研究(術後 TEG と合併症:血栓、拒絶の関連性の検討)につなげている。また本研究を行うにあたり、一貫した麻酔方法、輸血管理方法の確立が必須であった。当施設では肝移植麻酔マニュアルを既に作成されており、それに沿った麻酔管理がされていたが、麻酔管理、輸血管理、抜管プロトコールも術中や術後経過と共に検討し論文化した。小児肝移植に関して本研究の内容を含め海外シンポジウム(2023年10月ウランバートル)と国際麻酔学会(2023年10月アルマトイ)にて招聘講演を行った。